

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2016年第46号(週報)

2016年第46週(11月14日~11月20日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 感染性胃腸炎：過去5年間の同時期に比べやや多い状況。一

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は5.23人(前週：5.81人)と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。今後患者報告数が増加していくことも予想されますので注意してください。

保健所別にみると、和歌山市保健所管内が12.44人(前週：13.67人)と最も多く、次に海南保健所管内が6.00人(前週：9.00人)となっています。

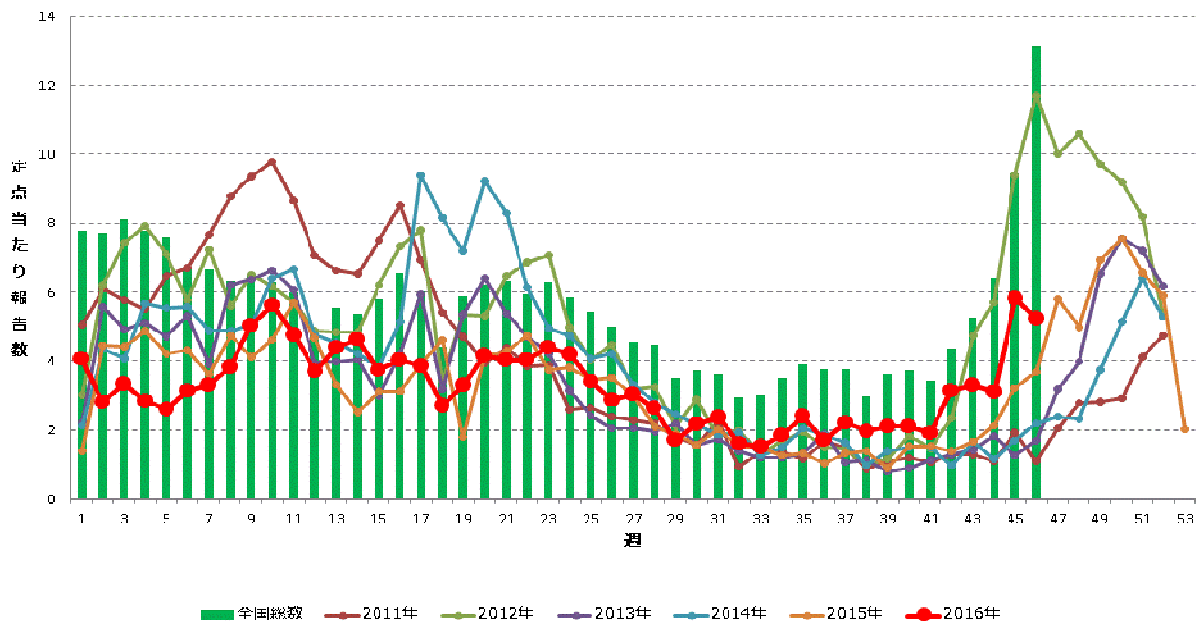
全国的には患者報告数は13.12人(前週：9.37人)と大きく増加しています。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

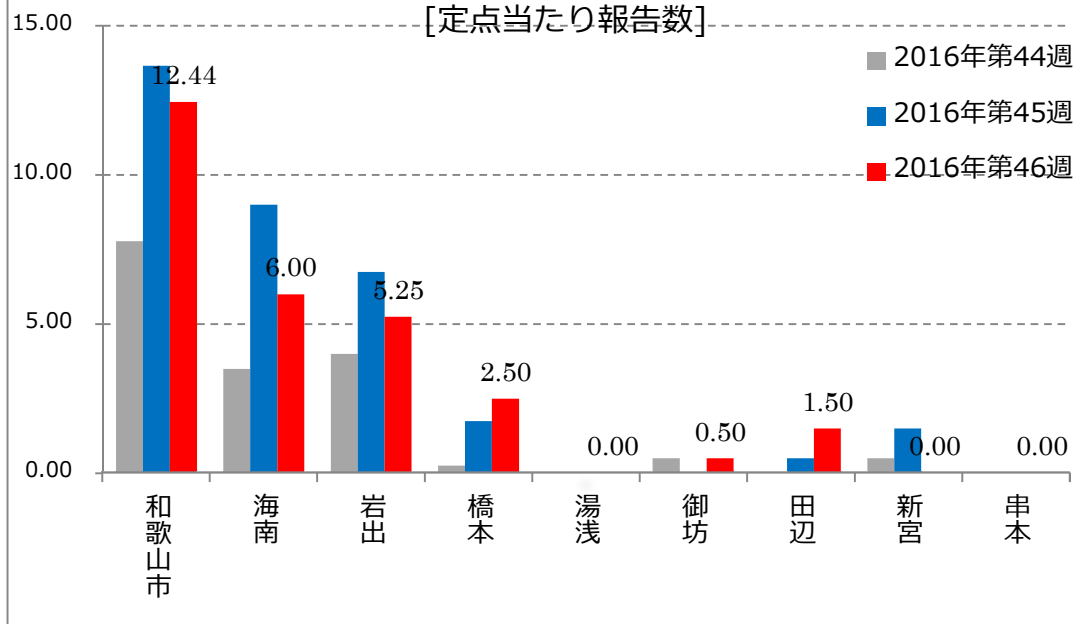
(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>)

感染性胃腸炎(和歌山県感染症情報センター)
定点当たり報告数グラフ



感染性胃腸炎-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



一 流行性耳下腺炎 : 橋本、湯浅保健所管内で注意報レベル！ -

流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」ともよばれ、主に2～5歳の子どものがかかる感染症です。ムンプスウイルスが原因で、2～3週間の潜伏期間を経て耳下腺の腫脹・疼痛、発熱などの症状がみられます。

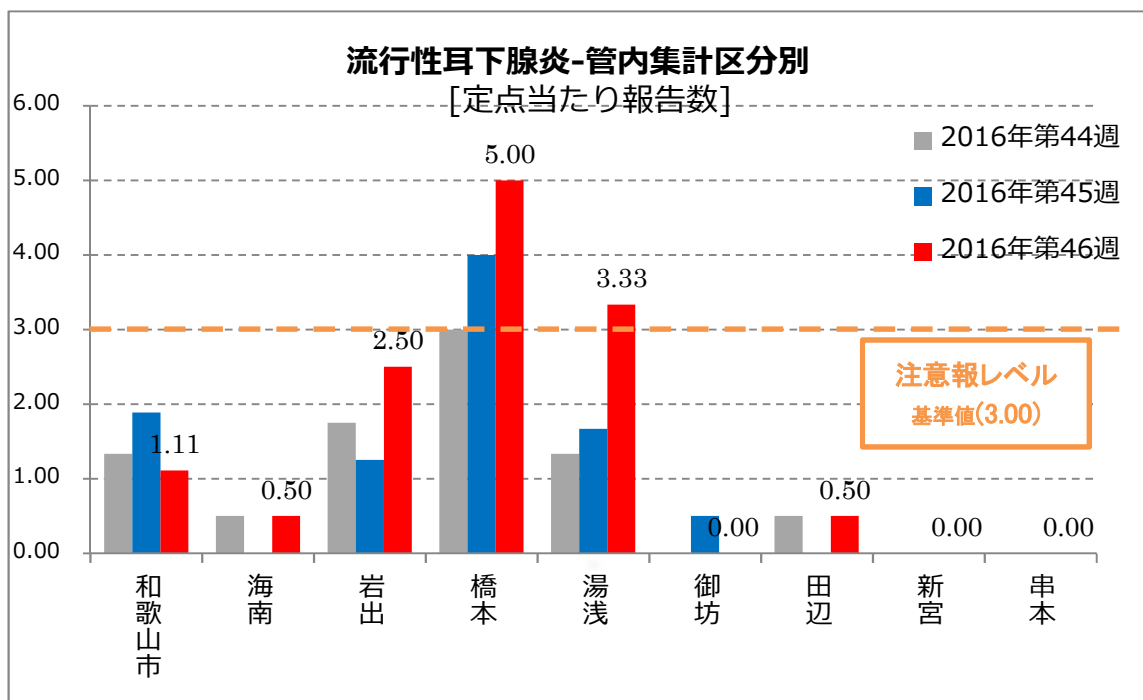
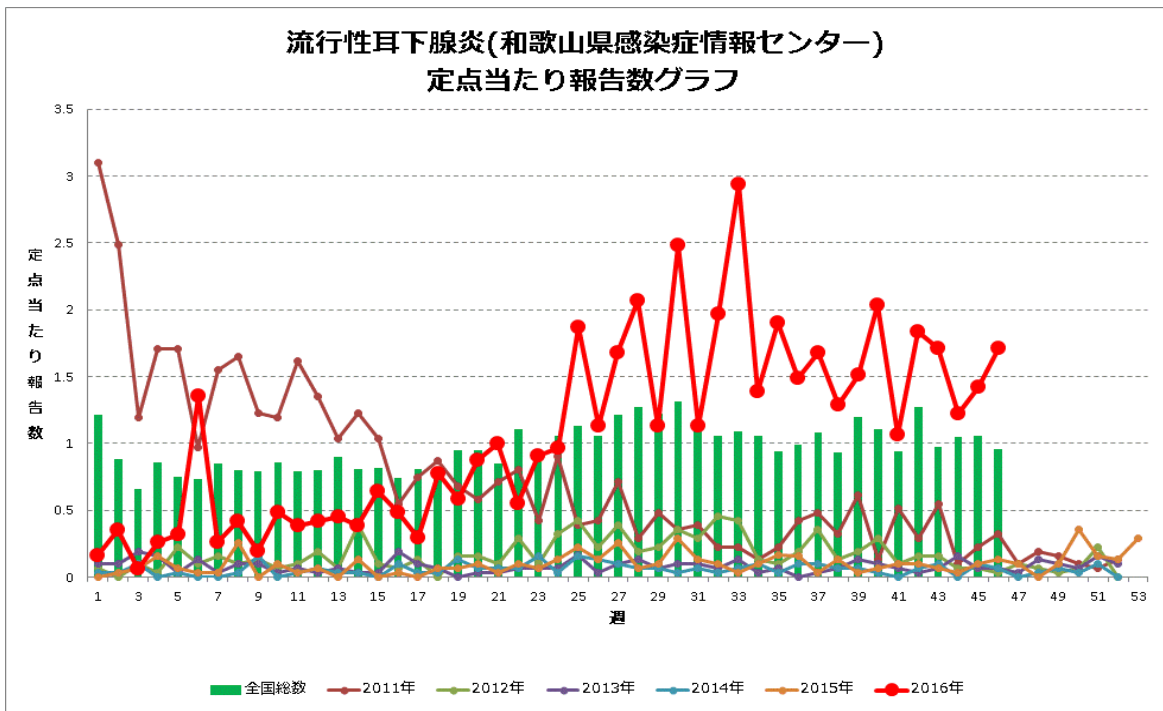
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.71人（前週：1.42人）と増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況となっています。

橋本保健所管内が5.00人（前週：4.00人）、湯浅保健所管内が3.33人（前週：1.67人）と増加し、注意報レベルとなっています。

全国の定点当たり患者報告数は0.96人（前週：1.07人）と減少しています。

主な感染経路は、上気道を介した飛沫感染や接触感染であり、感染力が強いです。感染予防にはワクチンが有効です。

流行性耳下腺炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>



一 RSウイルス感染症 : 患者報告数は減少するも、過去5年間の同時期に比べ多い状況。一

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.06人（前週：1.52人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

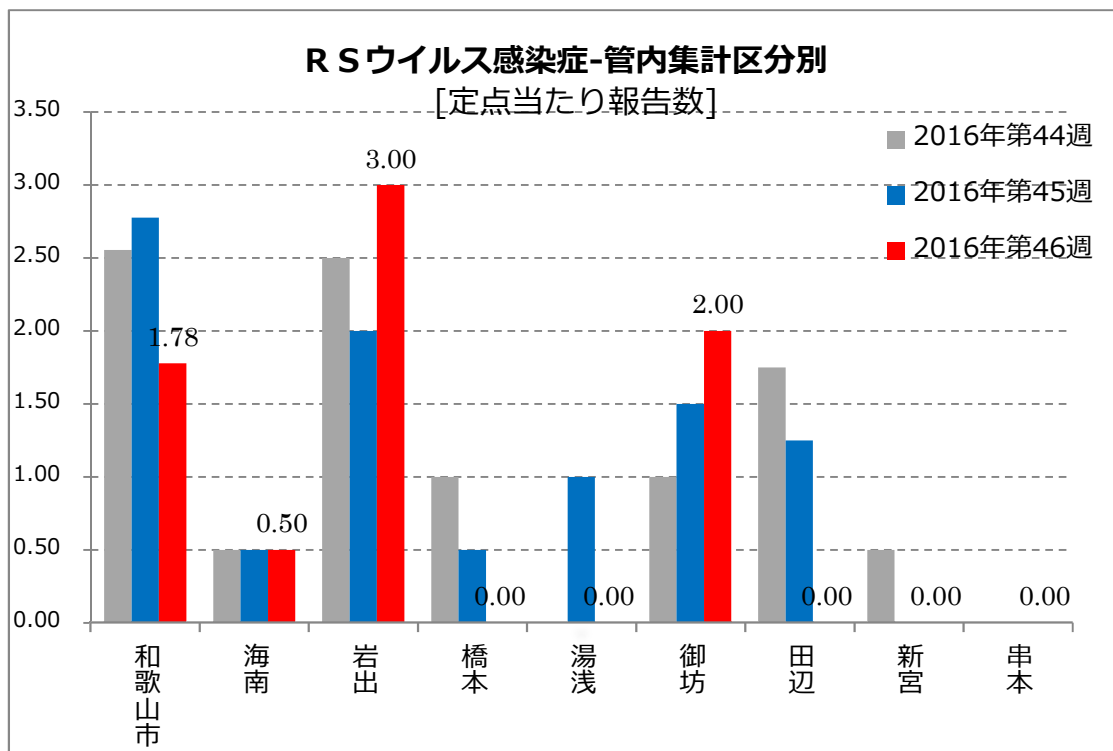
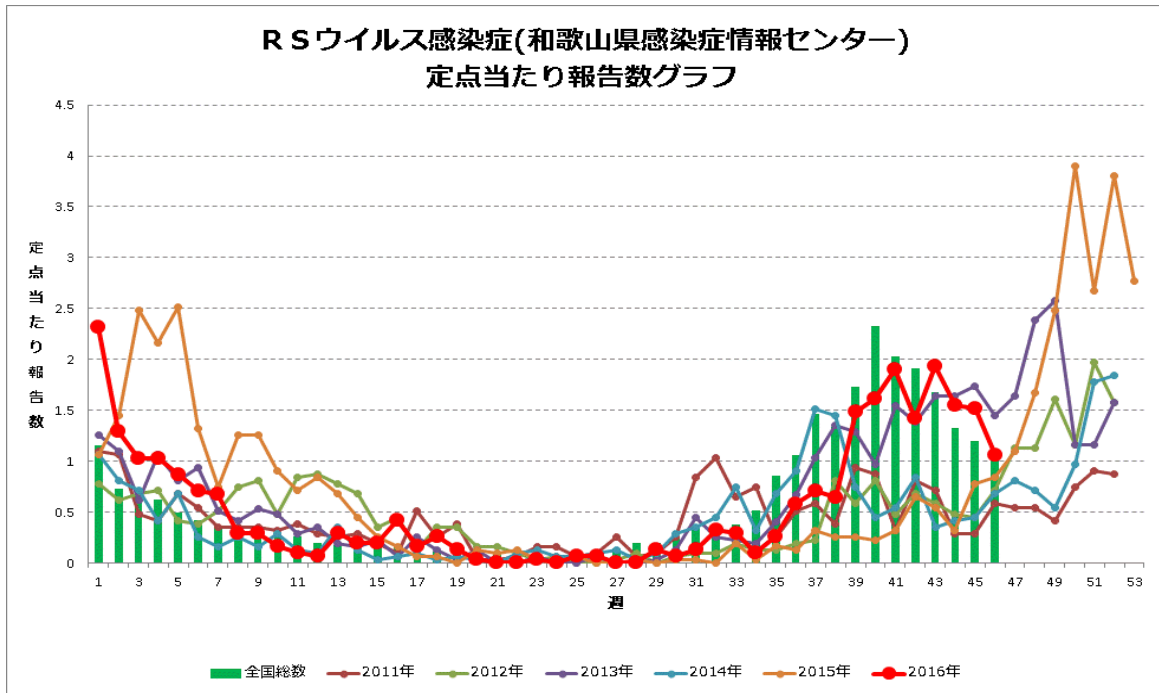
保健所別では、岩出保健所管内が3.00人（前週：2.00人）と最も多くなっています。

全国の定点当たり患者報告数は1.11人（前週：1.19人）と減少しています。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>)



◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

ー インフルエンザ：県全体の患者報告数は増加。今後の動向に注意！ ー

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は0.50人（前週：0.25人）と増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況となっています。

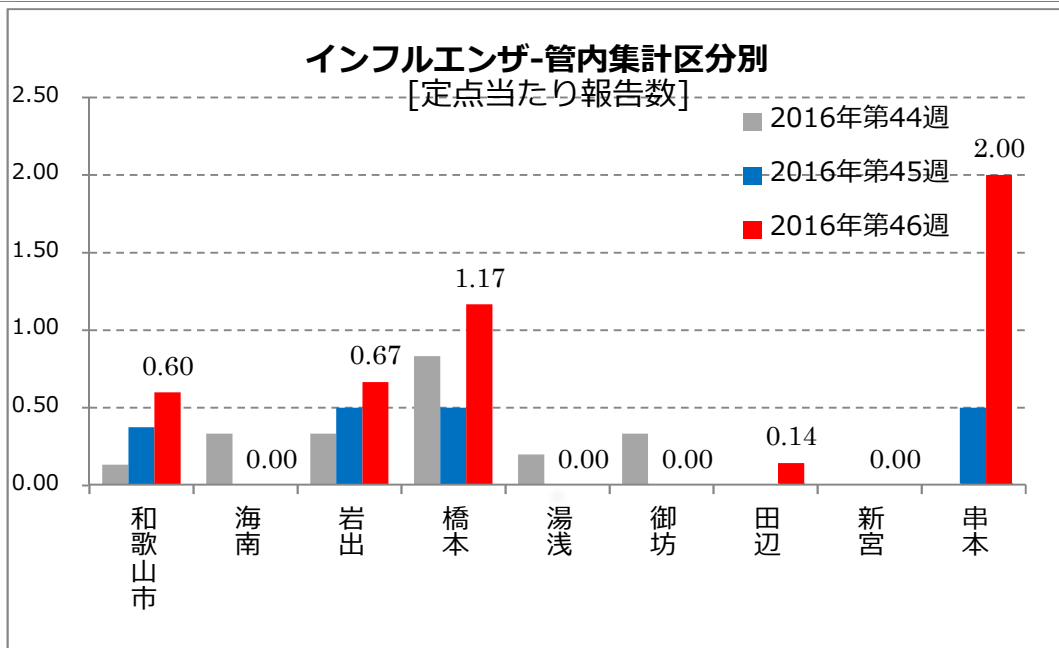
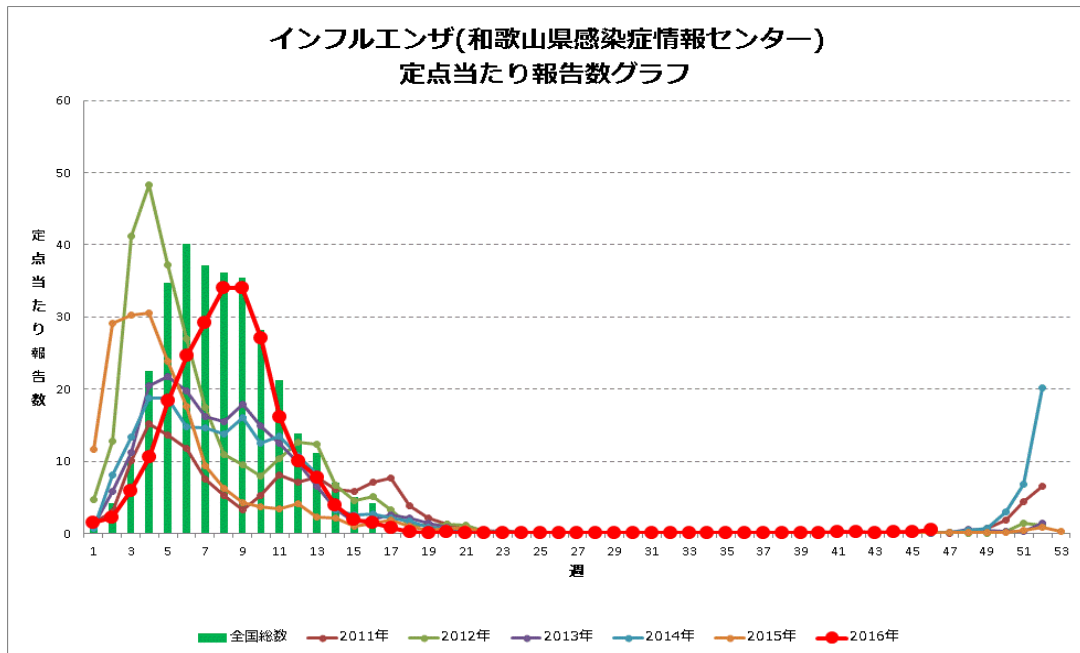
保健所別では、串本支所管内が2.00人（前週：0.50人）と最も多く、次いで橋本保健所管内が1.17人（前週：0.50人）となっています。

全国的にも患者報告数は1.38人（前週：0.84人）と増加しています。

今後さらに患者報告数が増加することが予想されますので注意してください。

感染を予防するために、ワクチンを接種し、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

インフルエンザに関するQ&A（平成28年度版）はこちら：厚生労働省HP
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 3名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：つつが虫病 1名
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1名

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	168
腸管出血性大腸菌感染症	13
重症熱性血小板減少症候群	5
つつが虫病	3
デング熱	1
日本紅斑熱	17
日本脳炎	1
レジオネラ症	11
レプトスピラ症	2
アメーバ赤痢	6
ウイルス性肝炎	2
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4
急性脳炎	3
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
後天性免疫不全症候群	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
侵襲性肺炎球菌感染症	10
水痘（入院例）	2
梅毒	15
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	1
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

流行性耳下腺炎（橋本、湯浅健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	25	-	-	-	-	-	4	1	1	1	-	1	9	-	1	3	-	3	1	-	-
	定当	0.5	-	-	-	-	-	0.08	0.02	0.02	0.02	-	0.02	0.18	-	0.02	0.06	-	0.06	0.02	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	33	5	7	8	4	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	1.06	0.16	0.23	0.26	0.13	0.13	0.13	0.03	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	0.03	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	11	-	-	-	-	1	-	2	-	1	1	2	4	-	-
	定当	0.35	-	-	-	-	0.03	-	0.06	-	0.03	0.03	0.06	0.13	-	-
感染性胃腸炎	報告	162	1	4	15	18	22	31	17	16	12	6	4	10	-	6
	定当	5.23	0.03	0.13	0.48	0.58	0.71	1	0.55	0.52	0.39	0.19	0.13	0.32	-	0.19
水痘	報告	9	-	1	-	-	-	2	3	1	-	1	1	-	-	-
	定当	0.29	-	0.03	-	-	-	0.06	0.1	0.03	-	0.03	0.03	-	-	-
手足口病	報告	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	0.03	-	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-
突発性発しん	報告	6	-	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.19	-	0.03	0.06	0.03	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	53	-	-	-	2	8	7	7	7	13	3	1	5	-	-
	定当	1.71	-	-	-	0.06	0.26	0.23	0.23	0.23	0.42	0.1	0.03	0.16	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-: 患者報告がない、…: 保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	9	-	4	7	-	-	1	-	4
	定当	0.6	-	0.67	1.17	-	-	0.14	-	2
RSウイルス感染症	報告	16	1	12	-	-	4	-	-	-
	定当	1.78	0.5	3	-	-	2	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	1	-	-	-	1	1	-	-
	定当	0.11	0.5	-	-	-	0.5	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	1	1	1	1	1	3	1	2	-
	定当	0.11	0.5	0.25	0.25	0.33	1.5	0.25	1	-
感染性胃腸炎	報告	112	12	21	10	-	1	6	-	-
	定当	12.44	6	5.25	2.5	-	0.5	1.5	-	-
水痘	報告	6	-	-	-	-	2	-	1	-
	定当	0.67	-	-	-	-	1	-	0.5	-
手足口病	報告	2	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	0.5	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	3	-	1	-	2	-	-	-	-
	定当	0.33	-	0.25	-	0.67	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	10	1	10	20	10	-	2	-	-
	定当	1.11	0.5	2.5	5	3.33	-	0.5	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	1	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	5	1	-	…
	定当	-	…	-	-	-	5	0.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	1	…	-	-	-	1	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	1	-	-	…

和歌山県感染症情報（WIDR）2016年第46号

発行日：平成28年11月25日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。